

## 小学部

### (1) 小学部の教育目標

- ①自分でできることをがんばる子  
(学校生活全般において自分ができることをやり遂げる意欲と態度を育てる。) (知)
- ②みんなと仲良くできる子  
(集団活動を通して簡単なきまりや約束を守る態度を養い、助け合う心を育てる。) (徳)
- ③明るく元気な子  
(丈夫な体と豊かな感性をもった明るく元気な子を育てる。) (体)

### (2) 教育課程編成の方針

- ①本校教育課程編成の基本方針に基づき、あらゆる障害種に対応できるよう児童の実態に即し、合理的配慮が提供されるよう教育内容を精選して編成する。
- ②保護者の願いを考慮し、一人一人の障害の状態や発達段階に応じた指導、個に応じた指導を工夫する。
- ③児童の実態に応じて、I 課程～II 課程の教育課程を編成する。
- ④I 課程は、小学校学習指導要領に自立活動を加えて編成する。
- ⑤II 課程は、知的教育課程とし、特別支援学校小学部学習指導要領に基づいて編成する。
- ⑥訪問教育における教育課程は、I・II 課程に準じて弾力的に編成する。
- ⑦居住地や近隣の地域・学校との交流及び共同学習を教育課程に位置付けて編成する。
- ⑧コンピューター等の情報機器や教育支援機器に親しみをもって様々な学習で活用できるように努める。
- ⑨様々な生活経験ができるように校外学習の充実を図る。

### (3) 各教科等の指導の重点(基本方針等)

#### 【I 課程・訪問教育 I 課程】(一般教育課程：小学校の教育課程に自立活動を加える)

児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、以下の(1)～(3)(「(1)知識・技能」「(2)思考力・判断力・表現力等」「(3)学びに向かう力、人間性等」)に示す観点をもち(道徳科・自立活動を除く)、各教科等の指導を通して、資質・能力の育成を目指す。

#### ① 各教科の指導

##### ア〈国 語〉

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

##### イ〈社 会〉

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統

と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

#### ウ〈算 数〉

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

#### エ〈理 科〉

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

#### オ〈生 活〉

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づくとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようになる。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

#### カ〈音 楽〉

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようになる。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

#### キ〈図画工作〉

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、

材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

#### ク〈家庭〉

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にす心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

#### ケ〈体育〉

- (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

#### コ〈外国語〉

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

#### ② 道徳科

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養い、物事を多面的・多角的及び自己の生き方について考えを深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

#### ③ 外国語活動

- (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え

合う力の素地を養う。

- (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

#### ④ 総合的な学習の時間

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

#### ⑤ 特別活動

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

#### ⑥ 自立活動

- ・自立を目指し、障害による学習上又は生活上の種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。

### 【Ⅱ 課程・訪問教育Ⅱ 課程（知的教育課程：特別支援学校小学部の教育課程）】

児童の発達の段階や特性等を踏まえつつ、以下の(1)～(3)（「(1)知識・技能」「(2)思考力・判断力・表現力等」「(3)学びに向かう力、人間性等」）に示す観点をもち（道徳科・自立活動を除く）、各教科等の指導を通して、資質・能力の育成を目指す。

#### ① 各教科の指導

##### ア 〈生活〉

- (1) 具体的な活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々の特徴やよさに気づき、生活に必要な習慣や技能を身に付ける。
- (2) 自分自身や身の回りの生活のこと、身近な人々と自分との関わりについて知り、考えたことを表現することができる。
- (3) 自分のことに取り組んだり、身近な人々に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学び、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

##### イ 〈国語〉

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができる。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。

- (3) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。

#### ウ〈算 数〉

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解し、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付ける。
- (2) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

#### エ〈音 楽〉

- (1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付ける。
- (2) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができる。
- (3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

#### オ〈図画工作〉

- (1) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができる。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

#### カ〈体 育〉

- (1) 遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付ける。
- (2) 遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を養う。
- (3) 遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

### ② 道徳科

- ・強く生きる意欲をもち、豊かな心と思いやる心を育てる。

### ③ 外国語活動

- (1) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむ。

- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。
- (3) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

④ 特別活動

- ・集団や社会形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成する。

⑤ 自立活動

- ・自立を目指し、障害による学習上又は生活上の種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達を基盤を培う。